

こども新聞

週刊がほピョンプレス

毎週日曜発行
2019 5/5



河北新報社 TEL.022-211-1111(月曜から5営業)

きょうの紙面

- 2 サイエンス
- 3 3分チャレンジ
- 4・5 いいね
- 小学校
- 6 英語
- 7 かほくワークシート
- 8 投稿特集



大伴旅人の梅の宴と同じように、美しい花を咲かせる白梅=3月18日、福島県二本松市

これにちは、令和

①出典元の万葉集って？

ついに元号が「令和」になったね。かほピョンは、新時代についていろいろ知りたいな。まずは令和の出典元になった「万葉集」の「梅花の歌三十二首」の序文についてお話を聞きに行ってきたよ。

素直で面白い歌たくさん

今回「梅花の歌」について教えてくれるのは、早稲田大第一文学部で万葉集をはじめとする日本の古典を研究していた沼田佐和子さん。名取市。現在は、広告会社「月

梅の花の歌が詠まれた宴は大宰府(現在の福岡県)にある大伴旅人の家で、約1300年前に行われました。ここは政治の中心地・京都で権力闘争に敗れた人たちが

も多く追いやられた場所でしたが、朝鮮半島に近く、大陸文化が入ってくる時代の最先端スポット。沼田さんは「宴会に出ていた人たちは、新し

沼田さんは「梅花の歌もそうですが、万葉集は風景描写の美しさがすばらしいんですよ。そのほかにも『お酒、めっちゃおいしいよね』とか『貧



万葉集の梅花の歌の序文について教えてくれた沼田さん



わらかだし、梅の花はきれいな人がつけているおしろいみたいに白くて美しいし。小さい野の花もいい香りだよ」となるそうです。

い時代をつくる気概にあふれていたんだと思えます」と教えてくれました。京都では形だけになりつつあった「植物を愛でる」という宴を、大宰府の人たちは素直にその美しさを楽しもうという会にしたのだそう。

「初春の令月にして、気淑く風和ぎ、梅は鏡前の粉を披き、蘭は珮後の香を薫らす」という梅花の歌の序文は、今の簡単な言葉で言うと「春の月がきれいだし、風もや

「乏つらい…」とか『うちの子、すごくかわいい!』という、とても人間くさい歌がたくさんあって面白いんです。令和をきっかけに、ぜひ万葉集を読んでみてほしいです」と話してくれました。

◇万葉集って難しいと思っていたけれど、昔も今も人間の感情って変わらないんだね。かほピョンも、これをきっかけに万葉集を読んでみようって!

今週の注目ニュース

◇8日(水) 静岡ホビーショー(～12日、静岡市) プラモデルや鉄道模型などのメーカーが、新商品を展示する日本で最大級の見本市だよ。今年初めて地元の小中高生を招待するよ。無料の一般公開は11、12日なんだ。

◇11日(土) 南方熊楠賞の授賞式(和歌山県田辺市) 民俗学や博物学の分野で業績があった研究者を表彰するんだ。今年には北海道大学の名誉教授で「コケムシ」の研究をする馬渡駿介さんが選ばれたよ。